

えがおになあれ

(30)

子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人
も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

「児童クラブは もうひとつのおうち」

児童クラブとは

市内には、43の児童クラブがあります。保護者が就労等により昼間家庭にいない小学1～3年生の児童を対象に、平日は放課後から18時まで、土曜日および長期休業中は8時から18時まで開設し、お子さんをお預かりしています。

運営は、各地区の「運営委員会」に委託され、地域住民による組織で子育てを支援しています。

保護者の皆さんにとっては「子どもの安全が守られ、安心して預けられる場所」であり、子どもたちにとっては放課後を過ごす居場所として「もうひとつのおうち」のような存在です。

クラブでは、友だちとの楽しいふれあいや豊かな経験を積むことを通して、子どもたちの健やかな成長をめざしています。

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。



子どもたちは保護者のお迎えまでの数時間を、友だちと勉強したり遊んだりしながら楽しく過ごしています。

児童クラブで心がけていること

子どもたち一人ひとりが自分自身や友だちの「良さ」や「個性」を大切にし、互いに認め合いながら楽しく過ごせる場づくりに努めています。

保護者と様々な情報を共有しながら、家庭とクラブがつながりあい、子どもたちの健やかな成長を支援することに努めています。

地域の児童クラブとして、地域住民の皆さんへ子育て支援の情報発信や啓発に向けた努力をしています。

(執筆：出雲市児童クラブ運営委員長会)

おたずね／青少年育成課 ☎62297
または 各地区の児童クラブ

出雲の食材をおいしく食べよう！

今月の食材は 平田特産品「**十六島のり**」です！

市内の十六島地方でのみとれる岩のりを「十六島のり」といいます。

12月から3月にかけての寒い時期、岩床に付着したのりを、波しぶきにうたれながら手でつまっています。「十六島のり」の歴史は古く、奈良時代の「出雲国風土記」に記述が見られ、奈良、平安時代には朝廷への貢納品に、江戸時代には将軍への献上品として用いられていました。

十六島地方では、正月や初午祭に、「十六島のり」をつかった「のりふで」が食べられています。汁の中の「十六島のり」を箸で持ち上げると、筆の先になることからその名が付けられたといわれています。

平田学校給食センターでは、1月の学校給食週間に「十六島のり」を使った郷土料理「のりふで」を給食メニューとして出しています。本来は「べべ貝」でだしをとりますが、給食では削り節にかえるなどアレンジをしています。「十六島のり」を使った具だくさんの「のりふで」は子どもたちにも好評です。これからも古くから伝わる郷土料理を子どもたちに伝えていきたいと思ひます。

おたずね／平田学校給食センター ☎63-1376



※給食用にアレンジしています

【材 料】(4人分)

- | | |
|--------------|----------------|
| ・十六島のり…… 5g | ・ねぎ……………20g |
| ・鶏もも肉…………60g | ・削り節……………20g |
| ・里芋……………60g | ・こいくちしょうゆ…小さじ2 |
| ・人参……………40g | ・うすくちしょうゆ…小さじ2 |
| ・大根……………60g | ・酒……………小さじ1 |
| ・こんにゃく……40g | ・塩……………少々 |
| ・豆腐……………80g | ・でんぷん…………小さじ2 |

【1人分の栄養価】 エネルギー 74kcal、脂質 2.9g
たんぱく質 4.7g、塩分 1.2g

【作り方】

- ①鶏肉は小口切りにする。
- ②里芋は皮をむき小さめの乱切り、人参、大根も皮をむいた後いちょう切り、ねぎは小口切りにする。
- ③こんにゃくはゆでてアクをとった後、小さく切り、豆腐はさいの目切りにする。
- ④削り節でだしをとり、鶏肉、人参、大根、里芋、こんにゃくを入れて煮る。
- ⑤豆腐を入れた後、調味料を加えて味付けをし、水溶きかたくりでとろみをつけ、仕上げにねぎと「十六島のり」を入れる。



展示中

出雲弥生の森博物館情報

◆ミニ企画展 [1/14まで]
「出雲を掘る 第3話 うつわを焼くー窖窯と登窯ー」

観覧
無料

◆ギャラリー展 [2/25まで]
「発掘された戦国の山城ー出雲にも多くの城が!?ー」

新展示予告

観覧
無料

◆速報展示
「出雲市 新指定・新登録文化財速報展」 [1/9から]



講座案内

◆館長講座
【発見と感動の考古学シリーズ】

1/12(土) ③「西谷墳墓群」の巻

講師: 渡邊貞幸 館長

受講料: 300円

お申し込みは
お電話で。

◆ギャラリー展関連講演会

1/14(月・祝)「新発見! 十六島町の寄居城について」

講師: 山根正明氏(松江市文化財課史料編纂室専門官)

受講無料

いずれも 時間: 14時~16時 定員: 80名

お知らせ

**国富中村古墳(国富町)が
国史跡指定に!!**

国富中村古墳を国史跡指定にするよう、このたび国文化審議会が文部科学大臣に答申を行いました。市内では11箇所目の国史跡となります。

全国でも稀な未盗掘古墳であり、当時の埋葬儀礼の様子がわかる重要な古墳として、指定となりました。(出土品を当館常設展示室で展示しています。)



出雲弥生の森博物館

〒693-0011 出雲市大津町2760

☎25-1841 FAX 21-6617

<http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori>



ホール
展示

**『第2回「万葉の世界を訪ねて」
フォトコンテスト写真展』**

1月10日(木)~1月14日(月・祝) 入場無料

全日本写真連盟島根県本部主催の『万葉の世界を訪ねて』

フォトコンテスト応募作品展。

古代住居や神楽など古代をテーマにした作品を展示します。

『スサノオ登場』



荒神谷博物館情報

☆ 古代もちつき会 ☆

と き: 2月3日(日) 10:00~ ※なくなり次第終了
と ころ: 荒神谷博物館前

杵と臼を使った
昔ながらの方法で、荒
神谷で採れた黒米入り
の餅つきをします。



定期講演会

第89回 1月19日(土) 13:30~15:00

演題: 「西谷墳墓群は王墓か」

講師: 坂本豊治氏(出雲弥生の森博物館)

資料代300円 申込不要

風土記談義

1月20日(日) 10:00~

講師: 藤岡大拙・平野芳英

受講料300円 申込不要



最新情報はホームページ内のブログやFacebookをご覧ください♪



荒神谷博物館

Archaeological Museum of Kojindani

〒699-0503 出雲市斐川町神庭873-8

☎72-9044 FAX 72-7695

<http://www.kojindani.jp>

